



飯村友季子
教頭

令和2年度を振り返る

先日迎えた立春は実際にはまだまだ寒い日が続いても暦の上では「春の始まり」で、毎年待ち遠しい日のうちの一つです。

ところで今年の立春は37年ぶりに日付が変動し、2月3日でした。春分の日や秋分の日、冬至や夏至の日が変動しているのを皆さんには知っていますか。太陽が地球の周りをまわっていると見立てるに分かりやすいのですが、太陽黄経0度が春分の日、180度が秋分の日で、315度になつた瞬間が属する日が立春なのだそうです。そして何と今年はその瞬間が2月3日23時5分

節分といえば「鬼は外、福は内」という言葉が誰の頭にも浮かびますが、人間と似た姿で角を持ち、恐ろしい形相をしたあの「鬼」という存在はいつたい何なのでしょうか。日本の昔話にもよく出てきますし、最近ヒットした漫画で映画化もされた『鬼滅の刃』にもたくさんのお嬢さんの「鬼」が登場します。また、「あの人は仕事の鬼だ」とか「あの人のお嬢さんは鬼嫁だ」という表現など、「鬼」は昔も今も日本人にとって馴染み深い存在です。調べてみると、「鬼」は『日本書紀』に初めて登

鬼とは

たったそろです。立春のが2月3日になつたのは年ぶりとのことです。ことによつて今年の節分2月2日でした。

仏教の世界ではこの五色は瞑想修行を妨げる五つを表しているということです。「赤」は「貪欲」「青」は「憎悪」の感情、黄(白)は「平静な心を失った状態」、「緑」はやるべきことをやらずにいたり、「ダラダラと眠つた心」という「怠けた心」、「黒」は「疑う心」を意味しているのです。ということは、節分で追い払う「鬼」というのは私たち人間なら誰でも持つてゐる「弱さ」や「醜い心」の象徴ということになります。節分とは「弱さ」や「醜い心」を自分の中から追い出し幸福に生きたいと願う行事なのです。もう少し突き詰め

場し
室町時代には現存す
るような姿になつたようで
す。節分に登場する「鬼」は
「赤鬼」「青鬼」など様々な色
の「鬼」がいます。実はそのこと
色にも意味があるとのこと
です。もともと節分では赤
青、黄(白)、緑、黒といつ
た五色の鬼に豆をぶつけて
追い払うものだつたようで

逆境を乗り越える

学校が再開しても部活動や
学校行事が思い通りできず
不自由な学校生活が半年以
上にも及んでいます。当た
り前だつたものが次々に不

卷之三

全国大会が開催てきた種類もあり、暮れから正月にかけてのラグビー部や女子バレー部は少ない練習量で一杯頑張ってきました。いつも通りの一年だった見ることでのできなかつた生徒たちの意欲や逞しさ、ひときわに私たち大人が逆を励まされる場面がたくさんありました。また、テレビやラジオ、インターネットでもそうした若者の姿が報道され勇気をもっている一つは、石川佳純選手が全日本卓球選手権で優勝したというニュースでした。二十歳以下の若手選手た。

様々な制限の中、生徒たちが主体的に工夫を凝らして実現した文化部発表会は大きな感動を生みました。二日だけの校内競技大会も、精いっぱい楽しむ笑顔で流れ、自分たちで行き先を選んで訪れた中学校の校外学習も事後のプレゼンテーションでは内容の濃いものを

いま感じること

あきらめなかこた強さには
とても感動しました。

口ナヴィ川不感症拡大の影響で一切試合がなくなつた時間を逆にプラスに捉え直し、弱点克服に集中します。並大抵の努力ではなかつたようですが、それを乗り越え、先日の全日本選手権優勝を掴んだのです。自分の置かれた苦境を、このコロナ禍という逆境を逆に味方

校報

國學院大學
栃木中学高等学校
〒328-8588
栃木市平井町608
☎(0282)225511
校報編集委員会

〈3月の行事予定〉

- 1 日 卒業式予行
賞状授与式
同窓会入会式(高)
美化日の申(中)

2 日 第50回卒業式(高)
3 日 美化日(高)
3 日～5 日 期末試験
(中・1・2年)
4 日～8 日 期末試験
(高・1・2年)

7 日 第2回新入生
ガイダンス(中)
8 日～11 日 卒業実習(3年)
9 日 卒業判定会議(中)
12 日 卒業式予行(中)
13 日第23回卒業式(中)
18 日 成績判定会議(中・高)
身体計測・歯科検診
(高1年)

19 日 補填授業(高)
壮行式(高)
身体計測(中・高2年)
21 日 新入生ガイダンス
父母会支部長会(高)
22 日 新入生体力試験(高)
1・2年単位認定試験
(高)

23 日 職員研修 職員会議
(中・高)

24 日～25 日 補填授業
(中・高)

25 日 終業式(中・高)
28 日 新中3・新小6 対象
選択会(高)

たちが次々に台頭し、どんどん居場所がなくなり、「石川では中国には勝てない」とまで囁かれ、オリエンピックも延期になってしまったことでかなり追い詰められたようです。しかし新型コロナウイルス感染拡大の影響で一切試合がなくなつた時間を逆にプラスに捉え直し、弱点克服に集中します。並大抵の努力ではなかつたようですが、それを乗り越え、先日の全日本選手権優勝を掴んだのです。自分の置かれた苦境を、このコロナ禍という逆境を逆に味方につけ、可能性を信じてあきらめなかつた強さにはとても感動しました。



オンラインで発表

2月17日(水)の5、6時限目に1年生の探究活動発表会が行われた。今年度の「総合的な学習の時間」では、SDGsを念頭に置きながら準備が進められた。SD

Gsとは、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」の略称である。このSDGsにある17の目標の中から各自が興味を持ったものを、パワーポイントを利用してまとめあげた。今年度は新型コロナウイルスの影響で、学年全体が四十周年記念館に集まる形式の発表会ではなく、発表者は図書館会議室での発表、発表者以外の生徒は各教室でオンラインで発表を視聴する形式となつた。



各教室で視聴

●各コースは、次の記号で表示されます。

中高一貫コース	N
特別選抜Sコース	S
特別選抜コース	T
選抜コース	A
グローバルコース	G
文理コース	B

身近な疑問や地球の将来を探究 1年探究活動発表会

2月17日(月)の5、6時限目に1年生の探究活動発表会が行われた。今年度の「総合的な学習の時間」では、SDGsを念頭に置きながら準備が進められた。SD

全校朝礼 学校長講話(要旨) 情熱とねばり強さで

2月1日(月)
放送にて全校朝礼が行われ、はじめに各種表彰があつた。書道部の県大会優勝は、代表として渡邊琴美さんと栗原翔君が表彰された。また2学期の出席率優秀クラスでは、SD

7クラス(下表参照)の代表としてT2年1組秀クラスでは、鹿倉萌葉さんが表彰されました。また2学期の出席率優秀クラスでは、SD

Gsとは、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」の略称である。このSDGsにある17の目標の中から各自が興味を持ったものを、パワーポイントを利用してまとめあげた。今年度は新型コロナウイルスの影響で、学年全体が四十周年記念館に集まる形式の発表会ではなく、発表者は図書館会議室での発表、発表者以外の生徒は各教室でオンラインで発表を視聴する形式となつた。

2月17日(水)の5、6時限目に1年生の探究活動発表会が行われた。今年度の「総合的な学習の時間」では、SDGsを念頭に置きながら準備が進められた。SD

GSとは、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」の略称である。このSDGsにある17の目標の中から各自が興味を持ったものを、パワーポイントを利用してまとめあげた。今年度は新型コロナウイルスの影響で、学年全体が四十周年記念館に集まる形式の発表会ではなく、発表者は図書館会議室での発表、発表者以外の生徒は各教室でオンラインで発表を視聴する形式となつた。

探究活動タイトルと発表者一覧

N 1 - 1	未来都市 Woven Cityとは?	坂本隼宥
S 1 - 1	質の高い教育をみんなに	岡島朋之
S 1 - 2	栃木市のSDGsの取り組みについて	岩下圭吾
T 1 - 1	スマートフォンの利便性と依存	西谷唯那
T 1 - 2	海の豊かさを守ろう	中島 凜
T 1 - 3	先進国・新興国が発展途上国に行っている支援	石川明幹
A 1 - 1	サスティナブル・ファッション	草間遙水 駒場理音 松本 葵
A 1 - 2	アフリカの飢餓問題	萩原 蓮
B 1 - 1	栃木市の人口を増やすために	大木康誠 亀山 葵 川口亮真
B 1 - 2	集中力を高める方法	近江サクラ 長澤杏奈
B 1 - 3	国際法と霸権国	石嶋 葵 内沢 萌
B 1 - 4	CO2と私たちにできること	高久紗耶
B 1 - 5	奥日光の水質調査	武石暖大

21 20 日	17 日 (日)	13 12 日 (水)	8 日 (金)	6 日 (土)	1 日 (月)	教務日誌抄	（高校）
						全校朝礼	
						3年単位認定試験 実習共通テスト模試	

2月17日(月)の5、6時限目に1年生の探究活動発表会が行われた。今年度の「総合的な学習の時間」では、SDGsを念頭に置きながら準備が進められた。SD

令和2年度2学期 出席率優秀クラス
1 T 2 - 1 99.88%
2 A 2 - 3 99.87%
3 S 3 - 2 99.70%
4 B 1 - 1 99.66%
5 B 1 - 4 99.49%
6 N 1 - 1 99.46%
7 T 3 - 2 99.07%

校内実力試験

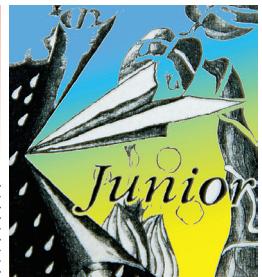
令和3年1月13日(水)～1月14日(木)実施

第1学年

成績上位者一覧

成長を飛躍につなげる

2月となり、中学生たちも今年度を振り返る時期に入っている。3年生は高校入学に向けて最後の試験に臨んだ。この試験が中学校での学習の集大成と、必死に勉強に励んでいた。2年生は立志式を迎えて大きく成長し、中学校の中核として努力を重ねている。1年生も後輩ができるることを楽しみにしており、精神的な成長が見られた。



全校朝礼



表彰を受ける濱野君

2月2日(火)、中学校で全校朝礼が実施された。まずは各種表彰が行われ、その後に校長による講話との流れになつた。今回の講話では、まず節分を迎えるあたり立春の

3年生短大連携授業

1月22日(金)の5限に、3年生を対象とした短期大学との連携授業が短期大学の講義室において実施された。この授業は毎年実施されているもので、年ごとに異なる短期大学教員が授業を担当する形で、その内容も歴史や文学、考古学など幅広い分野となつておらず、講座を受講する生徒たちが大変楽しみにしている行事の一つである。

今年度は伊藤慎吾准教授をお招きして講座が開かれており、講座が開かれた。



熱心に耳を傾ける

うだが、具体的にどのような妖怪が存在するなどといったことに関しては知らないかったようで、授業の内容に興味・関心を持ち熱心に先生の話を聞いていた。短い時間ではあつたが、楽しい時間となつた。

の期間などを利用して生徒たちは自分の興味関心のあるさまざまなテーマの研究に取り組んでいた。生徒によつてはなかなか思つたような実験結果が得られずには苦労した者もいたが、最終的には生徒たちはそれぞれ

の研究成果を得ることができ、今回その成果が認められた。この取り組みをきっかけに、生徒たちがさらに理科に興味を持ち、探究的視野を持つことを期待する。

山根史也(3年2組)
「水力発電」の研究
浜野健(2年1組)
「観賞魚水槽の底砂の側面に、光の層ができるのはなぜか。」

理科研究展覧会

理科研究展覧会が開催され、今年度は下都賀地区審査での優良賞が2名、栃木県審査での優秀賞が2名選出された。

本校は理科教育に関して力を入れており、夏休み通り。

話を取り上げ、新入生の入話した。その上で、在校生たちが入学直前の時期にどのような志を立てていたのかを問い合わせ、入学前の気持ちを思い出すよう語りかけた。また、人生を歩む上で様々な選択をする必要があることを説き、決断を下す上では、人との出会い、自身が積んだ経験・体験、今まで読んできた書物や触ってきた芸術などが大きな影響を与えることに、これまでの校長の経験を踏まえて言及した。

生徒たちは、校長の講話を大変興味深そうに聞いていた。

書道展入賞



生徒たちに語りかける校長

第57回全国学生書道展

創玄書道会奨励賞

特選

秀作

押山理愛(1年1組)

西山詩菜(1年2組)

第53回下野教育書道展

金賞

美空(1年1組)

西谷

佳奈(2年2組)

佐藤壮一郎(1年2組)

山本佳奈(2年2組)
佐藤壮一郎(1年2組)
神谷乃愛(2年2組)
第22回栃木県学校教育書道作品展



金賞受賞の長本さん



司会を行う小林君

1月22日(金)の5時間目に2年生の立志式が、本校の図書館大会議室において行われた。今年度は新型コロナウイルス感染防止により、保護者の参観はかなわず、学校関係者のみで式を挙行することとなった。例年とは大きく異なる形での実施となつたが、校外学習に続き生徒たちの自主性を重んじ、司会進行を生徒たちに任せることなど、新たな形式を取り入れた。

式では、まず校長から生徒たちに書籍の贈呈が行われた。今年度贈呈されたのはジャーナリストの池上彰氏が執筆した『なんのために学ぶのか』という本で、生徒たちにこれからもずっと学び続けることの大切さ

を伝えたいとの気持ちから選ばれたものであった。生徒たちは生涯を通して学んでいくことの大切さを感じることだろう。

大人になるとは

2年生立志式



書籍贈呈(2組 野島君)

その後、校長の講話が行われた。今回の講話は学年ごとに分かれて担任から「志を立てる」ということに関する話があり、改めて立志伝えるといった内容であつた。普段聞くことのない、自分たちと同世代の頃の学長の話も多く、生徒たちは一所懸命メモをとるなどしながら興味深く聞いていた。

講話の感想を発表
(2組臼井さん)

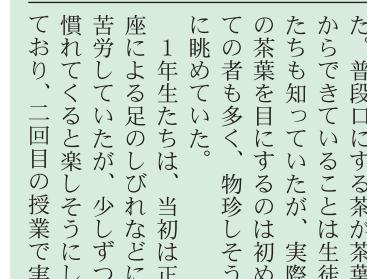
学校長講話



1組茶道教室

なお、立志式 자체は終了したが、生徒たちは立志式の文集の作成や、改めて自分の志を発表する会の開催を計画するなど、現在でも意欲的に活動を続いている。過去の事例にとらわれず新しい形の立志式を作り上げるのは大変な作業であり、実行委員の生徒たちも壁にぶつかりながらではあるが、悩んだ分だけ良いものがいると自分たちに言い聞かせ、一所懸命頑張っている。

式だけで終わらせず、何らかの形で自分たちの気持



ちを後々まで残そうとする生徒たちの活動を見ていると、教職員や後輩たちもその活動の成果に対しても大きな期待をかけており、2年生自身にとても良い刺激となっている。



2組茶道教室

1月15日(金)から2月5日(金)にかけて1年生の茶道教室が実施された。

今年度は新型コロナウイルス感染予防の影響などもあり、例年に比べて遅いスケジュールにて実施された。第一回の授業では実際に枝についた茶葉を見せてもらつた。普段口にする茶が茶葉からできていることは生徒たちも知っていたが、実際に抹茶を飲んでみると多くの生徒は美味しいと感想を言っていた。

今後の授業でも茶道の基礎となる作法などを教わることから始まつた。また、初回の授業では実際に枝についた茶葉を見せてもらつた。普段口にする茶が茶葉慣れてくれる楽しみそうに眺めていた。

1年生たちは、当初は正面による足のしごれなどに苦労していたが、少しずつ慣れてくると楽しそうにしており、二回目の授業で実

教務日誌抄 中学

<2月>

1日(月)美化の日

2日(火)全校朝礼

6日(土)補填授業

13日(土)

17日(水)～19日(金)

20日(土)補填授業(3年)

21日(日)第三回英検二次

22日(月)第一回新入生ガイダンス

23日(火)三年期末試験

24日(水)三年期末試験一部実施

25日(木)スピーチコンテスト

講話の感想を発表
(1組 笹本君)

